

談合疑惑問題のその後の対応は

角田 喜和 議員

議員 入札談合疑惑について今までどんな調査をしてきたのか。公正取引委員会へはどのような内容で通報したのか。

総務部長 談合情報マニュアルに基づき、談合情報報告書、事情聴取書、入札調書を公正取引委員会事務局へ送付しました。

議員 疑惑が持たれた4つの工事について、入札積算内訳書の再調査の結果は。

総務部長 各業者とも積算を行い、入札金額を決定しているため、談合の事実までは確認できませんでした。
交通弱者対策について

議員 市の高齢化率が26%を超えている。買い物等に

も苦慮している。市全域の交通弱者対策は。

市民部長 バスに対し、どの程度の利用ニーズがあるのか、高齢者が使いやすいバスとはなどについて、現在検討しています。

議員 国道17号綾戸から桜の木までの2・3キロメートル区間が来年4月から廃止になると聞く。この路線の負担金はいくらか。対策を講ずる考えは。

市民部長 負担金は78万9千円です。今後は影響を受

ける自治会等と意見交換しながら、廃止区間の利用ニーズ、意見を踏まえて検討していきたいと思えます。

議員 スクールバスの無料化は市長の持論です。無料化の継続と拡充の考えは。

教育部長 平成21年3月議会で「洪川市通学バス条例」が議決され、4月から有料化されました。通学バスの無料化については交通弱者対策を含めて、全市的な観点から慎重に対応していきたいと考えています。

事務事業評価の今後の対応について

篠田 徳壽 議員

議員 住民ニーズの高い事業など、毎年分析すること

が必要であり、グループ分けによる評価の考えは。

企画部長 事務事業評価対象事業のグループ分けなど、評価を重点的に行う手法について、今後、検討を進める予定です。

議員 新規事業の事前評価についての対応は。

企画部長 総合計画の「新規事業計画登載調書」の提出を受け、優先度・緊急度・熟度の事業評価を実施して対応しています。

議員 内部評価に加え、外部評価導入の考えは。
企画部長 評価対象事業の

グループ分けと同様に、外部評価等の手法について、今後、併せて研究・検討したいと考えています。

市有財産の有効活用を

議員 財産管理システムの進捗状況は。

総務部長 公有財産管理システムは、平成22年4月1日からシステム運用開始をしています。

議員 公共施設の空き室を目的外使用として条例改正で対応できるのか。

総務部長 行政財産の建物

を、個人に長期に営利目的で専属的に使用させることは、難しいと考えています。環境学習の対応について

議員 新エネルギーの導入を含めた総合的な環境学習施設の設置が効果的と思うが考えは。

市民部長 見て、触れて、理解できるよう、新エネルギー設備や体験施設等の地域拠点の整備について、今後研究していきます。



有効利用が待たれる空き公共施設



スクールバスの無料化を

一般質問



移転での建て替えか国立病院機構西群馬病院

(仮称) 渋川市自治基本条例制定の考えは

南雲 鋭一 議員

議員 市民の要望は自治会を通じて取り上げ、年間1億5000万円強の予算をつけている。組織に対し本市では条例等でふれていない、このことについていかが考えるか。

市民部長 条例により区長報酬等を支出する区長制から、地域住民が主体的に運

営する自治会制に移行したので、市は自治会と広報紙配布等業務を契約し、委託料として支出しています。

議員 新たに渋川市民憲章を制定する、その憲章の心をもつて協働して市民が主体の住みよいまちづくりを推進するために(仮称)渋川市自治基本条例を制定す

合併後の諸課題と今後の地方自治について

金子 渡 議員

べきと思うかがか。

市民部長 自治基本条例の制定は行政の押しつけではなく、市民の行政への参画意識やまちづくりへの参加意欲などの高まりを見ながら行うことが必要と考えます。

議員 学校給食調理場の設置場所が2カ所から3カ所に変更され、その後地域審議会、保護者説明会を開催し、これをもつて市民の合意形成の努力は行つたと考え事業を推進しようと考えているか伺う。

教育部長 地産地消や食育等を進め安全でおいしい給食を提供することで一定の合意形成が図れたと考え、今後は市民等の貴重な意見を参考にして事業を進めていきたいと考えます。

議員 伊香保、北橋地区の自校方式の設備の存続はいかに考えているか伺う。

市長 自校方式の調理場については修繕等を行い共同調理場への移行時期は地区住民の意見を聞きながら柔軟に対応していきます。

今後の地方自治は、市民ニーズとその背景、施策化費用とその根拠・方法論、費用対効果を整理し、しっかりとした市民合意を形成していくことが重要です。

議員 合併時の財政見直しと現状の乖離が大きい。財政計画の見直しは。

総務部長 財政健全化方針

を平成23年度に策定し予算編成方式など財政基盤の確立に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

議員 市民と市役所の協働、連携、連動を進めるために、市民交流課(仮称)の創設は。

市民部長 課の創設よりも当面は、協働という観点から、所管する事務事業を見

直すことができる職員の育成を研修を通じて図りたい。

議員 臨時職員の5年の契約が一齐に終了する。公民館等は業務に支障を来す心配がある。対応策は。

教育部長 該当臨時職員が約6割いますが、公民館は地域住民のよりどころであり一度に全員を入れ替ええない対応をしたいと考えます。

設とは異なり、公図による大字変更となりますので現地の測量が必要と考えます。

市長 安全安心、中心市街地活性化から町名は重要です。方法論も含め自治会と話し合いを進め検討します。

議員 西群馬病院移転の話が聞こえる。用地選定や財政負担等の市のかかわりはは来ています。市民の命を守るためには医療の連携が重要であり、関係機関との調整を図っていきたい。

市長 大字「渋川」創



学校給食調理場再編の保護者説明会